

2021年度

事業報告書

（2021年4月1日～2022年3月31日）

特定非営利活動法人 ウィッシュ・プロジェクト

1 事業の成果

まだまだ続くコロナ禍の影響の下でしたが、様子を見ながら事業を実施いたしました。

法人の広報媒体の一つでもあるホームページを、担当者が変わっても更新のしやすいソフトにし、リニューアルしました。記事の掲載方法の仕組作りをし、ボランティアで関わっている若者をITの専門知識のある法人理事が指導しています。このような取組を通し、社会参加が苦手な若者が得意なことを伸ばし自信をつけ、次のステップへ羽ばたくことができるようサポートを行ってきました。

理事会では行政書士の方に定款の理事研修を行っていただき、定款の基本的な部分を再確認すると共に共有をしました。

また、武蔵野市で子ども食堂の活動を行っている団体と連携をし、武蔵野市での地域との繋がりを広げるための種まきをしました。

（相談事業）

引き続きパルシステム東京コミュニティワーク連絡会との連携のほか、三鷹社会福祉協議会との連携により、三鷹ひきこもり合同実行委員会や三鷹ひきこもり家族会へ出席しました。三鷹親の会が発足し、三鷹社会福祉協議会主催の記念講演への共催をいたしましたが、コロナ禍で記念講演が次年度へ延期となりました。

また、正会員が20年のひきこもり支援を冊子にまとめる事になり制作費支援を行うことになりましたが、完成が次年度へ持ち越しとなりましたので、引き続き支援を行っていきます。

（施設管理運営事業）

少しずつ利用者が戻り、活動も通常の活動に戻ってきました。引き続きコロナの感染防止のため利用後の部屋の消毒、検温、マスク着用などを実施しました。また、お茶のサービスをコロナ禍前までは実施していましたが、今年度は休止し、次年度からは終了となります。

コロナ禍で外出を控えていた方々は体力が衰えたり、認知症の症状が進んだ方もいました。そのため、オンラインに慣れていただけるような事業を実施し、IT機器の操作もスタッフがサポートをしました。また、ハイブリッド形式を取り入れ、会場での参加者と外部からオンラインで入る参加者がコミュニケーションのできる仕組作りを行いました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 30,708 】

(千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
相談事業	①不登校引きこもりなど人間関係や、依存症、不安症など心の問題を抱えている人への相談と支援事業。 ②社会復帰のためのさまざまな援助を必要とする人への社会生活技能訓練と就労支援 ③自助グループ活動支援	随時	法人事務所及び都内公共施設	3	東京都近隣住民および悩みのある者不特定多数向け	170	1,120
施設管理運営事業	高齢者を中心とした一般市民向け公共健康福祉施設の管理運営 ① ゆうゆう井草館 ② ゆうゆう浜田山館 ③ ゆうゆう下井草館	随時	杉並区立健康福祉施設	28	杉並区民および近隣住民	27,307	29,588

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
なし					